

令和6年度町政等に関するアンケートによる意見、提案、課題等

- 1 道の駅をつくればどうにかなると思っている以上町は良くなりません。町議の方達を含め、真面目に政策に取り組んでください。

回答：企画財政課

町では、令和6年度を始期とする第6次総合振興計画の基本構想において「みんなの笑顔未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし」を将来像として掲げております。人と人が世代や分野を超えてつながることで、みんなが生きがいを持ち、笑顔で暮らす、活気・にぎわいのあるまちを次世代へつないでいく、また次の世代にも引き継いでいきたい、松伏町の豊かな自然と、松伏町に住む実感としての豊かさの意味を込めております。この将来像の実現に向け、様々な分野の施策に取り組んでおります。

特に、全国的に急速に進む超少子高齢化の時代にあっても、施策の効果により人口減少幅をゆるやかにする、将来目標人口の実現に向け、重点戦略で掲げた「こどもや高齢者にやさしいまちづくり」「次世代につなぐ活気とにぎわいのあるまちづくり」に重点的に取り組んでまいります。

- 2 自治会の拡大のために、良い提案及び良い指導をお願いします。

回答：総務課

町では、自治会加入促進と自治会活動の更なる活性化に向けて、自治会連合会や自治会組織が開催するお祭りや運動会等のイベントに対して、事業の必要経費の一部を補助する「自治会活動魅力アップ事業」を実施しております。

また、自治会連合会に対して自治会運営に関する必要経費の一部を補助する「自治会運営事業」も実施し支援しています。なお、補助対象組織や補助対象事業等に条件がありますので、あらかじめ町にご相談ください。

- 3 中川沿いの土手の街灯について要望しても受け入れて頂けないが、吉川と協力して街灯設置を前向きに対応して欲しい。

回答：総務課

防犯灯設置につきましては、吉川市の市道であることから吉川市へ要望をお伝えしました。吉川市から要望箇所が河川区域内であることから河川管理者の埼玉県へ河川占用許可について問い合わせをしたところ、埼玉県から河川占用許可については難しいとの回答でした。

町といたしましては、引き続き吉川市へ防犯灯設置の要望をしてまいります。

4 Led 街灯がもっとあれば安心出来ます。

回答：総務課

防犯灯の設置につきましては、指定通学路や交通事故の件数、交通量が多い場所、自治会からの要望などにより、優先度の高い場所から設置しております。
今後も必要な箇所につきましては防犯灯を設置してまいります。

5 (鉄道、駅に関する同様の意見、提案を)

- ・若者が松伏町に住んでいて良かったと思えるような施策を望みます。まずは松伏に駅が出来るように期待します。
- ・鉄道の誘致を要望する。
- ・地下鉄 8 号線の早期実現を推進してください。
- ・地下鉄 8 号線の松伏町への誘致

回答：企画財政課

高速鉄道東京 8 号線延伸の誘致は、都心部へのアクセス利便性向上により、町も大きな発展が期待されます。「地下鉄 8 号線建設促進並びに誘致期成同盟会」を埼玉県、千葉県、茨城県内の 11 市町で組織し、研究活動及び要望活動を行っており、令和 5 年度からは東京都足立区も参加し 12 市区町で活動しております。

東京に直結する鉄道の早期の実現は、松伏町、さらには沿線地域におきましても悲願であると考えており、引き続き研究活動及び要望活動を行ってまいります。

6 高齢化により今まで自治会等で行われていた事が出来にくくなり、町での解決策を考慮して欲しい。 安全対策・排水路の悪臭等 地域の美化等

回答：総務課

安全対策について、日頃より自治会員の皆様による見守り活動やパトロール活動に努めていただき、誠にありがとうございます。また、その他の安全対策として、自主防犯団体である松伏町青色防犯パトロール隊による、自家用車での見守り活動も実施していただいております。

なお、本年 3 月 3 日から「松伏町家庭用防犯カメラ設置費補助金」の申請を受け付けております。補助金を利用して、家庭用防犯カメラを設置していただき、地域全体の安全対策と防犯力向上にご協力ください。

回答：環境経済課

全国的な課題として、少子高齢化や人口減少によって、これまで行ってきた行事や活動の維持が難しい状況となっておりますが、一方で、持続可能な住みやすい地域づくりは、地域住民と行政の協働によって実現できると言われております。

町といたしましては、地域の美化活動などの地域課題について、町民の皆さん、自治会の皆さんと町で一緒に考え、より良いまちづくりを進めてまいります。

具体的な箇所がありましたら、環境経済課までご相談ください。現地の状況を確認し、対応を検討いたします。

回答：まちづくり整備課

排水施設の清掃等については、他の地域からも多くの要望があり、限られた予算の中で危険性、緊急性、維持管理の状況などを考慮して、優先度の高い箇所から実施している状況です。

具体的な箇所がありましたら、まちづくり整備課までご相談ください。現地の状況を確認し、対応を検討いたします。

7 三年前、近くの林が削られて太陽光発電パネルが設置されましたが、家の庭にタヌキ11匹、アライグマ8匹、ハクビシン2匹が出ました。パネル設置場所に巣を作っていたり、餌場になっていたのかも知れませんが、住めなく為ったのでしょうか。

太陽光パネル発電は中国企業と建設業者が儲かるだけでエコではないし、環境破壊に繋がるのもう止めましょう。

道の駅の計画が出ていますが、農家さんや料理屋さんがメリットがある程度で、億単位の資金が飛んでいくのはコスト的に大失敗になると思います。

道の駅が欲しいなら緑の丘公園を拡大して対応を。

東日本大震災と余震の影響なのか、松伏高校通りの歩道部分歪みが酷いですね。修復を活用する時は歪みの少ないアスファルトに戻した方が良いでしょう。

防災面で大震災クラスが来た時に、東京からの帰宅困難者が多いと思います。

電車バスが使えなくなったら何日も帰宅困難になるので、江戸川上流の自治体と協力して、東京の屋形船組合に協力してもらえるよう交渉しては如何でしょうか？

差別するつもりでは無いですが、外国人が増えました。

残念ながら彼等は日本のマナーや法律を理解しようとする努力もしません。

回答：環境経済課

太陽光発電の普及は、温室効果ガスによる地球温暖化を防止するため、再生可能エネルギーの普及施策として推進されている事業ですので、ご理解をお願いいたします。

アライグマの駆除については対応いたしますので、町にご相談ください。

回答：新市街地整備課

第6次総合振興計画策定にあたり実施した町民意識調査の「住みにくさ、暮らしにくさ」のアンケートでは、「娯楽や食事を楽しむ場がない」、「通勤・通学に不便である」、「都心に出るのが不便」との回答が上位を占めました。

そのため、都心へのアクセス向上に繋がるBRTやバス、タクシーが利用できる公共交通の拠点としてのバスターミナルと町民の娯楽の充足やにぎわいの創出が期待できる道の駅を一体的に整備することで、町民全体の利益に繋がるものと考えております。

また、バスターミナルを併設した道の駅の整備推進については、前面道路となる東埼玉道路の交通量調査などを行い、これらに基づき事業採算性などを踏まえて判断してまいります。

なお、まつぶし緑の丘公園は、埼玉県が都市計画決定をして設置した県営公園であることから、拡充については大変難しいものであることをご理解ください。

回答：まちづくり整備課

歩道を含め道路の整備につきましては、他の地域からも多くの要望があり、限られた予算の中で危険性、緊急性、維持管理の状況などを考慮して、優先度の高い箇所から実施している状況です。

なお、当歩道の状態を注視していきながら、随時必要な補修を実施してまいりますので、ご理解ください。

回答：総務課

首都直下地震等の大規模災害が発生した場合、公共交通機関が運行を停止し、多くの方が帰宅できなくなる可能性があります。そのような中、一斉に徒歩などで帰宅しようとする、各地で混雑が発生し、集団転倒などに巻き込まれる可能性や、緊急通行車両が通れず人命救助の妨げになることなどが懸念されています。こうした事態を避けるために、大規模災害発生時にはむやみに移動せず、安全な施設に留まることが重要となります。やむを得ず、徒歩で帰宅される場合には周囲の安全を確認するなど、適切な行動を心掛けていただきたいと思います。

ご意見いただいた、屋形船組合への協力依頼につきましては参考にさせていただきます。

8 ・公共交通の充実

電車誘致、路線バス充実、自電専用通路の確保・医療体制の充実
皮膚科、耳鼻科、婦人科、が近くにもあってほしい。

・公園の近くに寛げる飲食店がほしい。

エローラコンサート前後、スポーツの練習や試合後、散歩中立寄り、等

→例えば道の駅をエローラ近くに作る、等

・町外から集客出来る魅力の創出

カレーも良いが菅野製麺とタイアップしてラーメンで打ち出すのはどうか？

昔の桃山のテーマパークのように、桃をフィーチャーしてはどうか？

ビオトープにカブトムシ取りやザリガニ釣り、カワセミ観賞、等を組み合わせてはどうか？

横浜流星にも観光大使になってもらおう。

回答：企画財政課

高速鉄道東京8号線延伸の誘致は、都心部へのアクセス利便性向上により、町も大きな発展が期待されます。引き続き沿線自治体や関係自治体と協調しながら、要望活動を継続してまいります。

また、令和7年度から松伏町地域公共交通計画に沿って地域公共交通に関する施策を展開し、持続可能な、みんなにやさしい、そして活気とにぎわいのあるまちづくりに貢献する地域公共交通施策に取り組み、行政と公共交通事業者、他分野も含めた関係者及び町民などが連携しながら、本町の公共交通が将来にわたって持続するよう取り組むとともに、町民が笑顔で暮らすことをめざしてまいります。

回答：すこやか子育て課

松伏町は3万人弱の小さな町であることと、人口減少も重なり、医療機関が診療所の設置を見合わせているのが現状と思われます。必要な医療が受けられるよう、近隣市町の関係機関と連携して体制づくりに取り組んでまいります。

回答：環境経済課

松伏町は、日本初の国産カレー粉の製造に成功し、日本にカレーやスパイスを普及させた「エスビー食品」の創業者「山崎峯次郎」氏のふるさとであるため「カレー」というキーワードを活かした「町おこし」を行っています。菅野製麺にご協力をいただきタイアップしたラーメンについて検討できればと考えております。

松伏町には昔、桃山といわれた地域があったと伝えられております。文豪田山花袋の紀行文である「水郷めぐり」の中でも松伏が記されており、当時の筆者の散策の状況から松伏が水郷の趣に富んでいることがわかります。

しかしながら、現在では松伏町内で桃を生業としている農業経営者はございませんので、桃をフィーチャーすることは難しいと考えます。

また、ビオトープは、自然の中に広がる「生きものの暮らす場所」の意味であることから、松伏総合公園やまつぶし緑の丘公園内の調整池等の水辺を活用した事業について検討してまいります。

回答：総務課

現在、AKB48の高橋彩音さんと全国自転車競技大会シクロクロスで3連覇を成し遂げた織田聖選手に、まつぶしPR大使をお願いし、活動していただいております。

他の有名人に大使をお願いしてはどうかとのことですが、所属事務所の許可や芸能活動への支障、ご家族、身の回りの方への配慮等を鑑み、大使就任のお願いは、慎重に行っております。

9 街灯が少ないように感じる。夜道が暗すぎる。一時停止の周知の徹底をして欲しい（松伏第二中の交差点やその先の交差点など一時停止をしていない車も多く、標識をもっとみやすくしてほしい）

回答：総務課

防犯灯の設置につきましては、指定通学路や交通事故の件数、交通量が多い場所、自治会からの要望などにより、優先度の高い場所から設置しております。今後も必要な箇所につきましては防犯灯を設置してまいります。

第二中学校の北西の交差点につきましては、止まれの標識や路面標示が設置されており、今年度、第二中学校西側町道において「スピード落せ」や「交差点注意」の路面標示を設置して交通安全対策を行いました。一時停止の周知は、吉川警察署に要望すると共に町としては、引き続き交通安全対策を進めてまいります。

10 健康診断がかかりつけ医院の越谷市で受診できない。検査が二度行うことになる。かかりつけ医院でできれば安心感がもてる。

回答：住民ほけん課

国民健康保険における特定健診及び後期高齢者医療保険における高齢者健診につきましては、保健センターや役場会場などにおける集団健診のほか、吉川松伏医師会の協力のもと町内の医療機関において個別健診を行っております。これらの健診について、町外の医療機関で行うことは現状では難しいと考えておりますので、集団健診又は町内医療機関での個別健診をご利用ください。

1 1 「松伏町のまちづくり」の全体像がはっきり見えない、わからないことが多いのでわかるような対策を立てて欲しい。

回答：企画財政課

町では、令和6年度を始期とする第6次総合振興計画の基本構想において「みんなの笑顔未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし」を将来像として掲げております。人と人が世代や分野を超えてつながることで、みんなが生きがいを持ち、笑顔で暮らす、活気・にぎわいのあるまちを次世代へつないでいく、また次の世代にも引き継いでいきたい、松伏町の豊かな自然と、松伏町に住む実感としての豊かさの意味を込めております。この将来像の実現に向け、様々な分野の施策に取り組んでおります。

特に、全国的に急速に進む超少子高齢化の時代にあっても、施策効果により人口減少幅をゆるやかにする、将来目標人口の実現に向け、重点戦略で掲げた「こどもや高齢者にやさしいまちづくり」「次世代につなぐ活気とにぎわいのあるまちづくり」に重点的に取り組んでまいります。

1 2 なんでも自治会まかせでは役員をやる人がいない。

回答：総務課

自治会活動につきましては、地域的な繋がりをもって、互いに支え合い助け合える近所（近助）の組織で、地域の生活環境の向上を目的に、自主的に結成運営される地域コミュニティ組織です。

近年、ライフスタイルの変化や価値観の多様化などで、近所とのお付き合いも変わり、ご近所との関係が希薄化しています。大規模災害、高齢化、生活環境の向上など、地域の課題に対応するためには、住民の支えあい、話し合いが求められ、地域のコミュニティの主体となる自治会の必要性が再認識されております。

町では、住民同士の交流が深まり、まちづくりの主体となる自治会活動が活発になるよう、自治会への加入を推進し、自治会活動に対する運営補助金などの支援を行っています。

1 3 魅力ある町づくり 1. 子育て支援の更なる拡充 2. 道の駅開設 3. 県みどりの丘公園の活用（園内にレストランハウスを設ける）

回答：企画財政課、新市街地整備課

1. 町では、令和6年度を始期とする第6次総合振興計画の基本構想において「みんなの笑顔未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし」を将来像として掲げております。人と人が世代や分野を超えてつながることで、みんなが生きがいを持ち、笑顔で暮らす、活気・にぎわいのあるまちを次世代へつないでいく、また次

の世代にも引き継いでいきたい、松伏町の豊かな自然と、松伏町に住む実感としての豊かさの意味を込めております。この将来像の実現に向け、様々な分野の施策に取り組んでおります。

特に、全国的に急速に進む超少子高齢化の時代にあっても、施策効果により人口減少幅をゆるやかにする、将来目標人口の実現に向け、重点戦略で掲げた「子どもや高齢者にやさしいまちづくり」「次世代につなぐ活気とにぎわいのあるまちづくり」に重点的に取り組んでまいります。

2. 道の駅の設置により、にぎわいの創出や町の知名度の向上、BRT事業やバスターミナルの整備による公共交通の充実など、多くの効果が期待できます。バスターミナルを併設した道の駅については、前面道路となる東埼玉道路の交通量調査などを行い、これらに基づき事業採算性などを踏まえて整備推進してまいります。

3. まつぶし緑の丘公園内のレストランハウスの設置は、公園利用者のサービスの向上に繋がる取り組みであり、その設置にあたっては官民連携のパークPFI制度の活用が考えられます。

この制度は民間事業者の資金やノウハウなどを活用することから高い収益性が求められるため、公園利用者からの多くのニーズを踏まえたうえで、公園設置者である埼玉県と調整する必要があると考えております。

14 予算がないと言ってあまり仕事をやっていないと思います。

回答：総務課

町では、住民サービスの向上に向け、接遇研修のほか、各種研修の実施により職員の育成に取り組んでいるところです。

しかし、予算を理由にした職員がいたことで、仕事をしていないと思わせてしまったことは大変残念ではありますが、創意と工夫により職員一丸となって住民サービスの向上に努めて参ります。

15 春日部から転入し3年目です。おおむね安心安全に生活できており、春日部よりキメ細やかな行政運営も感じられ、よい町に転入したと喜んでます。鉄道は悲願かと思われませんが、治安の低下が付属してくる可能性もあります。町の負担はバス増強の方が安上がりかとも思います。今後とも安心安全な町の維持に期待しております。

回答：企画財政課

高速鉄道東京8号線延伸の誘致は、都心部へのアクセス利便性向上により、町も大きな発展が期待されます。引き続き沿線自治体や関係自治体と協調しながら、要望活動を継続してまいります。

また、令和7年度から松伏町地域公共交通計画に沿って地域公共交通に関する施策を展開し、持続可能な、みんなにやさしい、そして活気とにぎわいのあるまちづくりに貢献する地域公共交通施策に取り組み、行政と公共交通事業者、他分野も含めた関係者及び町民などが連携しながら、本町の公共交通が将来にわたって持続できるよう取り組むとともに、町民が笑顔で暮らすことをめざしてまいります。

16 空き家対策をもっと積極的にお願いします。

回答：新市街地整備課

町では、近隣の住環境に影響を及ぼす恐れがある、管理が行き届いていない空家の発生を防止・解消するため、固定資産税の納税通知書に空家等の適正管理や利活用を記載したリーフレットを同封するなど、所有者の意識啓発に取り組んでおります。また、管理が行き届いていない空家を認知した場合には、所有者等に対し直接指導するほか、適正管理通知を発送するなど、自らの適正管理を促しております。

管理不全な空家等のために具体的なお困り事が生じた場合は、町にご相談いただければと思います。